

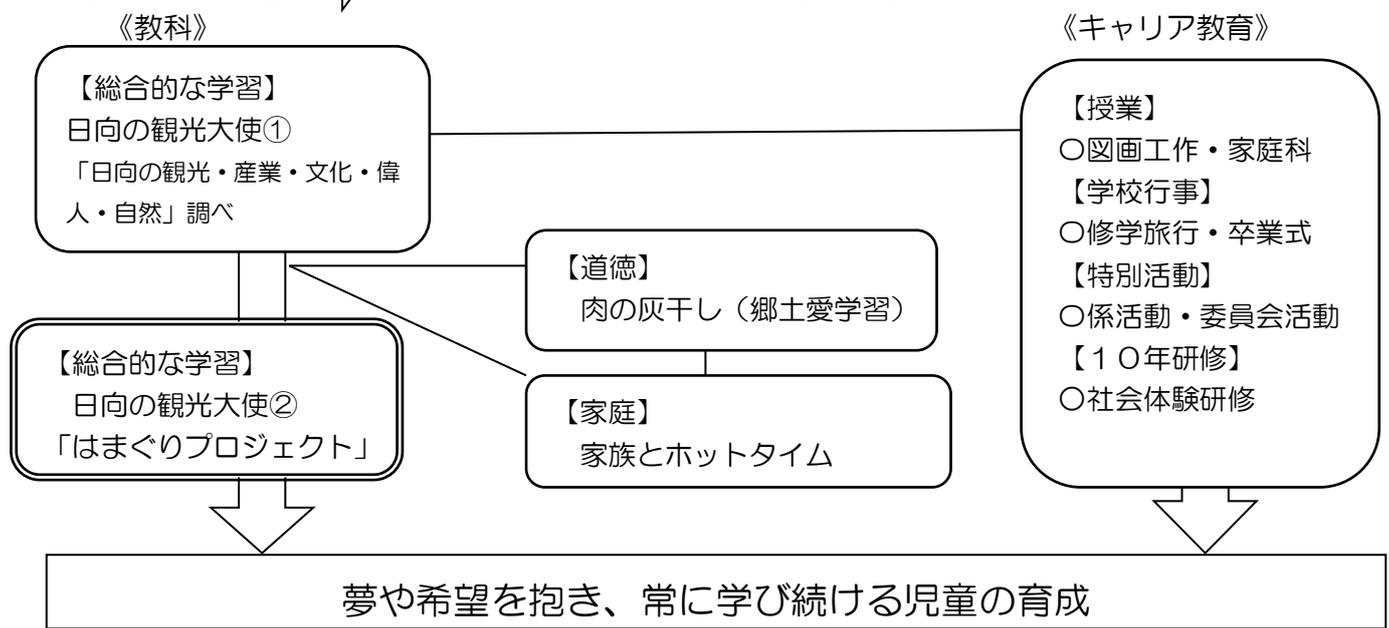
1 単元名 日向の観光大使②「はまぐりプロジェクト」

2 目標

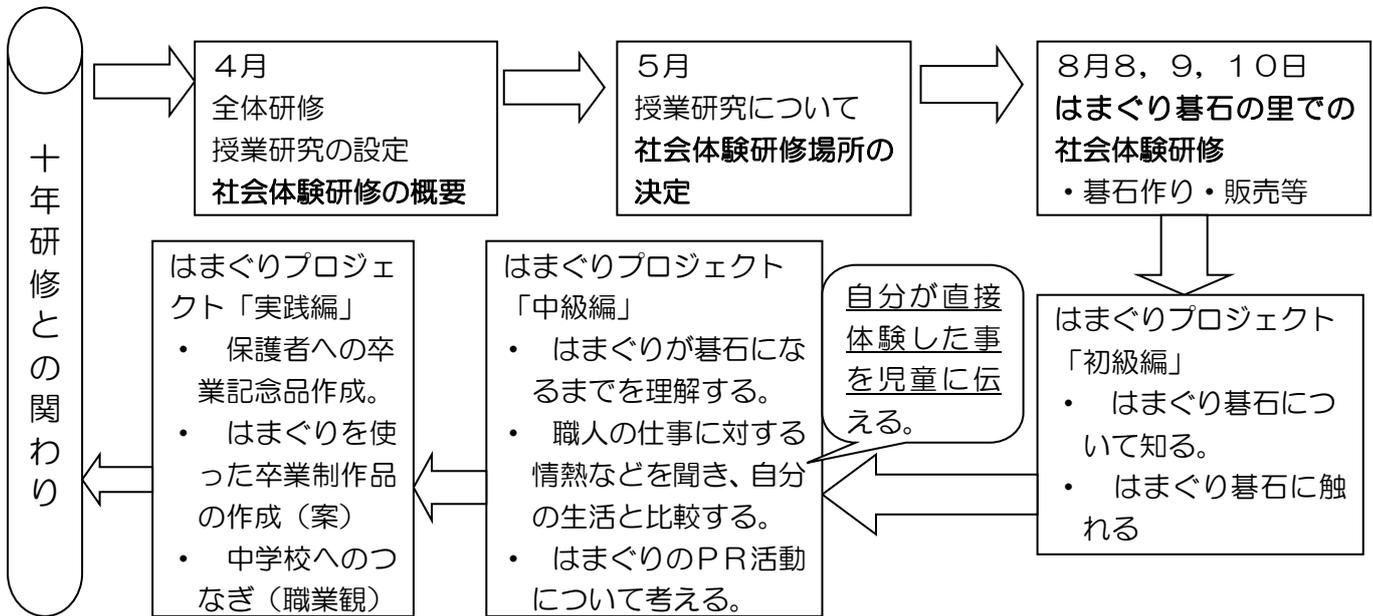
- 日向市のはまぐりを知ること、日向の伝統的な文化についての興味・関心を深めることができる。
(関心・意欲・態度)
- はまぐり基石についての理解を深めながら、自分達にできるPR活動を考え、実践することができる。
(自己の生き方)
- 日向市の資源であるはまぐり基石の伝統を守り続けながら働く人々の仕事への情熱や意義を体験を通して感じ取り、自分たちの手ではまぐり基石の卒業記念品を作り上げる。
(キャリア教育)

3 講師 はまぐり基石の里 ミツイシ代表取締役専務 黒木さん 基石製造部工場長 那須さん
手擦り職人 安藤さん

4 教育活動間の関連 ⇨ (活動の流れ ————— 活動間の関連)



教職経験10年経過研修を授業に生かすプロジェクトのゴールイメージ



5 指導計画（全12時間）

主な学習内容及び学習活動	時間	評価計画 ○図画工作との関連□家庭科との関連 ☆キャリア教育との関連	外部人材の活用
<p>1 はまぐりプロジェクト 「初級編」</p> <ul style="list-style-type: none"> 日向のはまぐりについて知っていることを発表する。 はまぐり碁石の里の黒木専務からはまぐりについての現状を聞く。 手擦り職人の安藤さんの実演を見た後、手ずり体験をする。 体験してみでの感想を述べる。 	<p>1時間 (本時)</p>	<p>☆ 日向市のはまぐりを知ることで、日向の伝統的な文化についての興味・関心を深めることができる。 (関心・意欲・態度)</p>  <p>☆ 実際に体験を通して、仕事の難しさや楽しさを感じとる。 (関心・意欲・態度)</p>	<p>外部人材の活用 ミツイシ株式会社取締役専務 黒木さん 手擦り職人 安藤さん</p>
<p>2 課題を見つける</p> <ul style="list-style-type: none"> はまぐりがどのように活用されているのかなど知りたいことを話し合う。 	<p>1時間</p>	<p>☆ 日向の伝統技術が生かされているのに関心をもつことができる。 (関心・意欲・態度)</p>	
<p>3 はまぐりプロジェクト 「中級編①」</p> <ul style="list-style-type: none"> はまぐりが碁石になるまでについて学ぶ。 工場長の仕事に対する気持ちや仕事を始めたきっかけ、やりがい等を聞く。 担任が社会体験を通して学んだことを聞く。 はまぐり碁石の加工品について、自分たちでアイデアを考えてみる。 アイデアの発表。 工場長の話聞いての感想。 	<p>1時間</p>	<p>☆ 日向市のはまぐりを知ることで、日向の伝統的な文化についての興味・関心を深めることができる。 (関心・意欲・態度)</p> <p>□ はまぐりの加工品に関するアイデアを考え、卒業記念品につながるようにする。(関心・意欲・態度)</p>	<p>はまぐり碁石の里 碁石製造部 工場長那須さん</p>
<p>4 はまぐりプロジェクト 「中級編②プレゼントプラン」</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工品のアイデア収集。 「PR大作戦」 はまぐり碁石のPR（パンフレット）資料を考え、修学旅行先で、日向市のはまぐり碁石をPRする。 	<p>3時間</p>	<p>○ はまぐり碁石についての理解を深めながら、自分達にできるPR活動を考え、実践することができる。 (自己の生き方)</p> 	

<p>5 はまぐりプロジェクト 「実践編」</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業記念品の作成 卒業制作品の作成（案） 	<p>6時間</p>	<p>☆ 日向市の資源であるはまぐり碁石の伝統を守り続けながら働く人々の仕事への情熱や意義を体験を通して感じ取り、自分たちの手ではまぐり碁石の加工品を作り上げる。</p> <p>○ 創造的に表現することや鑑賞することで、出す喜びを感じ作品を作ることができる。（創造的な技能）</p> <p>□ 家族への感謝をもち、家族のためにできることを考える。（創る力）</p>	<p>ミツイシ株式会社取締役専務 黒木さん</p>
---	------------	--	---------------------------

6 本時の目標

- 日向のはまぐりを知ることで、日向市の伝統的な文化についての興味・関心を深めることができる。（関心・意欲・態度）
- 手擦りの体験を通して、職人の素晴らしさや仕事の難しさを実感することができる。（キャリア教育）

段階 (時間)	学習内容及び学習活動	指導上の留意点 ☆ キャリア教育		評価【評価方法】 ☆ キャリア教育	資料 準備
		指導者	外部人材		
<p>導入 (3分)</p>	<p>1 学習の見通しをもつ。 日向の観光大使で学んだ中から、はまぐりに焦点をあてていくことを知る。</p> <p>2 本時のめあての確認。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>日向のはまぐりについて 知ろう。</p> </div>	<p>○ 前時学習を想起させ、本時からはまぐりに焦点をあてていくことを確認する。</p>			<p>学習 計画 表</p>
<p>展開 (35分)</p>	<p>3 自分たちが知っている「はまぐり」について発表させる。</p> <p>4 黒木専務からの話 日向のはまぐりの現状についてプレゼンを用いた説明を聞く。</p> <p>5 手すり職人安藤さんの話を聞き、体験活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 安藤さんの話を聞き、実演を見る。 実際にはまぐりに触れ、手すりを体験する。（体験場所は3か所） 作業の難しさ、困った点を発表する。 現在はほとんどの作業を機械で行っていることも確認する。 	<p>○ 児童の発表や黒木さんの説明を板書し整理する。</p>	<p>○ 簡単な自己紹介。（黒木さん）</p> <p>○ プレゼンをもとに児童に日向のはまぐりの現状について話をしていただく。</p> <p>○ 簡単な自己紹介。（安藤さん）</p> <p>○ 手擦りの説明と実演をしていただく。その後、児童にも体験をさせてもらう。</p> <p>○ 児童の感想について感想をいただく。</p>	<p>・ はまぐりに興味をもって話を聞くことができる。（関心・意欲・態度） 【観察・発言】</p> <p>・ てすりの体験を通して、職人の素晴らしさや仕事の難しさを実感することができる。（キャリア教育） 【観察・発言】</p>	<p>はま ぐり</p> <p>バケ ツ</p> <p>ザル</p> <p>プレ ゼン 資料</p> <p>カメ ラ</p>



《はまぐりプロジェクト中級編》

日向の観光大使②はまぐりプロジェクト
【中級編】

名前 ()

① 学習のめあて
はまぐりから碁石になるまでのひみつを知ろう

② はまぐりが碁石になるまでについて知っていること
くりぬき 洗う けぞる ひがく 0.1-2.3
こうていといいか減つたのこういしよ けれてないにこうてし

③ 工場長の話(碁石になるまでの話)で気になったこと(質問)を書きこみます。
くりぬきせんべつ(物)の舞にやろえろ → 粗する(片面すき)に(下)す
選別作業(人の目と手、手使) 中すり(表とつらとらにみか)る所の
たるみかき(たるの中てみかいてきれいに)最終選別作業(モス)見の(2)
かざんかすいをにつける はまぐりの値段 ひみつ 高いのは何の(1)
片方のかたわかれとれる量 → 貝によてとれる量がちかう3.5日 (18)
世界で一番の碁石 いい碁石をつくるため 白-180 葉っぱ (1)

④ 今日の体験をして感じたこと

日向の観光大使②はまぐりプロジェクト
【中級編】

名前 ()

① 学習のめあて
はまぐりから碁石になるまでのひみつを知ろう。

② はまぐりが碁石になるまでについて知っていること
①くりぬき ②けぞる ③形を整える ④ひがく(洗う)

③ 工場長の話(碁石になるまでの話)で気になったこと(質問)を書きこみます。
はまぐりかたを(かた)を、せんべつ(機械) 少しづつけぞる(粗すり)
選別作業(人の目と手) 中すり(うら、表をみかて)
たるみかき(たるの中てみかいて、その後、人の目と手)
最終(人の目、手) (値段)いろいろあるが、高い物、家の建つくらい
1つのはまぐりかた3つくらいとれる。自分がなして碁石かたきたとい
がとておもしろい。

④ 今日の体験をして感じたこと

はまぐりプロジェクト初級編、中級編では「はまぐりの歴史」、「伝統技術の体験」や「はまぐりが碁石になるまで」などを学び、はまぐりに対する知識を深めていった。この初級、中級編が今後の「はまぐりプロジェクトPR大作戦」のパンフレット作りに大きくつながった。話を聞くだけでなく、自分たちの手ではまぐり碁石を手ずりしたりよい碁石を選別したりする体験活動を行ったことは大変有意義であった。

《はまぐりプロジェクトPR大作戦》

財光寺小学校6年2組 ()

日向の宝 はまぐり碁石

あなたが、住んでいる場所には、宝と呼べるものがありますか？
ここ、宮崎県日向市には、はまぐり碁石という宝があります。
それでは、今からはまぐり碁石について知っていただきましょう。
まず、はまぐり碁石の原料は、はまぐりです。ですが、日向では採れなくなっています。なので現在は、メキシコから輸入しています

値段は、高いものでは家を1軒買えるくらいで、安いものでは、洋服が買えるくらいだそうです。
他にも、カラーはまぐり碁石や、はまぐりを使った食べ物などが、あります。

はまぐり碁石に興味を持った方には、こちらっ！

お問い合わせ先 宮崎県日向市 財光寺小学校 0982-54-2825



各自で作成したパンフレットを持って修学旅行に出かけた。(6年生児童全員分)まずは、見学で訪れた公共施設にパンフレットを置いていただけの交渉し、交渉が成立した場合は日向市のPRをして手渡した。その後は、班別自主研修で出会った方々や昼食会場等に出会った方に各々がPRしながら渡した。

○ 研究協議会

1 課題と改善策

① 時間配分

- ・体験の時間を長くしてあげたかった

本時は交流のみを行う。

- ・黒木さんの話の長さ、内容はどうだったか
- ・2時間扱いにしても良かった？

黒木さんの話の内容は事前に学習しておいても良かった。話の内容を精選する

② 格好いい大人

- ・感じられる部分はどこだったか

格好いい大人ってどんな大人？と問いかけて見るのもよい。
「格好いい大人」まとめをもっていくなら、めあても吟味しなくては。

③ 体験

- ・職人のすごさを感じさせるために、児童にただ感想を聞くのではなくて、難しかったところなどを聞いてみるとよかったかも

比べる活動があったらよい。

④ 指導計画

- ・もう少しゆとりがあっても？

2時間扱いにする。(1時間目黒木さん・2時間目安藤さん)

⑤ 児童の関わり

- ・児童の感想をたくさん引き出せば良かった

人材からの問いかけと、児童の答えのやりとりの活動を入れる

⑥ 外部人材の活用

- ・格好いいと児童が感じられる仕掛けがあっても良かったかも
- ・職人の安藤さんに、「継承に困っている」的な話をされても良かったかも

話の焦点化が必要。
教師が考えるまとめにつながる話をしてもらうように、ある程度は話の内容を注文してもよいのではないかと。
中級編と組み合わせる。

2 授業者の気付きや学び

日向市の歴史ある資源をもとに日向市に住む児童が探究的に学習していくこと、私が本年度教職経験10年研修を受けているので、社会体験研修を児童に還元することを目標に本学習に取り組んだ。初めは、外部人材の活用や授業の流し方等で悩むことが多かったが校長先生、教頭先生、研究主任、学年の先生方と話を進めていくことで一本の道が見えてきた。打ち合わせる時間ができるだけ短時間で済むように、事前に資料を提示し当日はお互いがどんな協議をすべきか分かっている状況で打ち合わせを行った。

早めの準備はスムーズに話が進み、時には新たなイメージが湧くなど時間の効率化と信頼関係が同時に図られることに気付いた。これは今後の外部人材との交渉の際にも使いたいと考えた。

学習における学びは、やはり本物が本気で児童に語りかけたり、実際に技を見せたりすることで児童の学習意欲の向上、持続化が図られると感じた。また、自分が体験した仕事内容を児童に伝えることでより強い興味関心をもたせることができ、職人の素晴らしい技が際立つよい機会となった。

素晴らしい技術に出会ったこと、世界に一つしかない基石という資源に出会ったこと、日向市と資源をPR活動で情報発信したことでまぐり基石に対する思いが強まり、最終章であるプレゼント作りにつながっていく探究的な学習のまとめにつながると感じた。